

令和5年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典

戦没者追悼・平和祈念のことば

本日、ここに出雲市民を代表して、先の大戦においてかけがえのない生命を捧げられました戦没者の方々を偲び、真の恒久平和が実現することを強く願い、誓いのことばを申し上げます。

数多の尊い命が失われた先の大戦から、七十八年もの歳月が過ぎ去りました。この間、わが国は、国民のたゆまぬ努力と平和を願う心によって、世界に誇る民主的で文化的な国家として、発展を遂げてきました。

しかしながら、今日、私たちが当たり前享受している平和で豊かな生活は、多くの方々の尊い犠牲の上にあること、そしてこの間のご遺族の皆さまのたゆまぬ努力があることを、決して忘れてはなりません。

本日、平和を祈念するにあたり、祖国のために亡くなられた戦没者の方々に対し、深く哀悼の意を捧げるとともに、ご遺族の皆様のごこれまでのご労苦に対し、心から敬意を表します。

世界に目を向ければ、長期化するウクライナ侵攻など、いまだ各地で多くの尊い命が犠牲となる事態が起こっています。私たち一人ひとりが、平和の尊さと、そのための努力の大切さをあらためて胸に深く刻み、過去の出来事を風化させることなく、未来を担う次の世代に平和の尊さを伝えなければなりません。

本市の六千二百四十四名にのぼる戦没者の御霊を前に、戦争のない平和な世界を願い、また、何よりも、英霊がこよなく愛したこの出雲の地で、誰もが笑顔で暮らせる豊かな未来を築いていくため、全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

終わりに、戦没者の方々の安らかなご冥福と、ご遺族の皆さまのご平安を心からお祈り申し上げますとともに、本日ご列席の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りし、戦没者追悼・平和祈念のことばといたします。

令和五年八月十一日

出雲市長 飯塚 俊之